

**トンボソウ***Platanthera ussuriensis* (Regel et Maack)  
Maxim.

岡山県：準絶滅危惧

環境省：該当なし

被子植物門 単子葉類

ラン科

**選定理由**

もともと集団数、個体数ともに少ない。林縁部に生える集団は森林伐採や道路の拡幅工事の影響を受けやすい。

**存続を脅かす要因**

森林伐採、道路工事

**分布状況**

岡山県南部、中部、北部に希にあり、二次林林縁部ならびに山地などのやや湿った場所に生える。国内では、北海道、本州、四国、九州に分布し、丘陵地、山地の樹下に生える。



撮影：斎藤彰男

**生育情報**

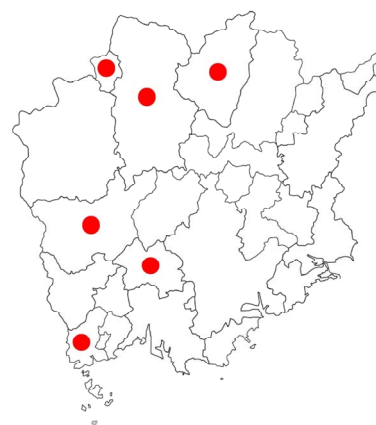
高さ15～35cmになる多年草。茎の下部にやや接して2葉があり、その上に数個の鱗片葉がある。葉は狭長だ円形または広倒皮針形でやや弓なりに曲がり、長さ8～13cm。淡緑色の花は7～8月に咲き、長さ3～10cmの穂状花序をつくる。上ぐく片は卵形で長さ約2mm、2個の花弁とともにかぶと状となる。唇弁は長さ3～3.5mm、基部から3裂し、側裂片は3角形でやや小さく、中裂片は舌状。

**特記事項**

「自然公園法」により、大山隠岐国立公園ならびに氷ノ山後山那岐山国定公園において指定植物に指定されている。

文献番号 76, 128

(狩山俊悟)

**トキソウ***Pogonia japonica* Rchb.f.

岡山県：絶滅危惧Ⅱ類

環境省：準絶滅危惧

被子植物門 単子葉類

ラン科

**選定理由**

岡山県内全域の湿地に普通に見られる植物で、これまでの採集によって急激に減少しており、今後も高い採集圧が続くものと考えられる。湿地の乾燥化によって生育地が減少することとともに、注意深く見守る必要がある。

**存続を脅かす要因**

湿地開発、業者・マニア採取、自然遷移

**分布状況**

県下全域に分布する。園芸採取などにより、少なくなった。国内では北海道、本州、四国、九州に分布する。



撮影：西本孝

**生育情報**

日当たりの良い湿地に生える地生の多年草。根茎は横にはい、根のように見える。茎は根茎から出て、高さ10～30cm、基部に膜質の鱗片葉がある。葉は1個で茎の中央につき、皮針形、長さ4～10cm、基部は細くなって翼状に茎に沿って流れる。花は紅紫色、1個が頂生し、横向きにつける。唇弁はがく片と同長で2～2.5cm、3裂する。唇弁内側に紅紫色の肉質突起が密生する。花期は5～7月。花の色がトキの体の一部の色に似ていることから名づけられた。

**特記事項**

「自然公園法」による瀬戸内海・大山隠岐国立公園ならびに氷ノ山後山那岐山国定公園の指定植物である。また「岡山県自然保護条例」による自然環境保全地域のうち、鯉ヶ窪湿原（新見市）で保護すべき種に指定され、捕獲等が禁止されている。

文献番号 121, 128

(西本孝)

